

生徒理解を支援するための情報共有の工夫

—生徒の活動・観察記録をデータベース化した「MYレコード」の作成と活用を通して—

長期研修員 三宅 浩樹

I 主題設定の理由

中学校は教科担任制のため、自分が受け持っている授業以外の生徒の様子は把握しにくい。学級担任は担当教科によっては、自分のクラスの生徒とほとんど顔を合わせない日もある。生徒に関する情報を共有するために、多くの職員が予定を合わせて頻りに情報交換の場を設定するのが難しい。

そこで、先行研究で職員間の情報共有に有効であると示されているグループウェアの活用に着目した。日々の生徒の活動・観察記録をグループウェアを活用してデータベース化し、複数の職員による生徒の観察情報や指導記録を共有できるようにすれば、職員が多面的な視点で生徒に関する情報の収集ができ、生徒理解を支援するための情報共有を推進することができると考えた。

II 研究のねらい

中学校における生徒の活動・観察記録をデータベース化した「MYレコード」を作成し、その有効活用のための校内支援体制を整備すれば、生徒理解を支援するための情報共有を推進することができることを明らかにする。

III 研究構想図

生徒理解を支援するための情報共有の推進

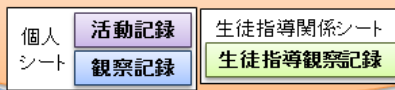
○生徒情報が職員全体で共有され、職員の生徒に関する多面的な情報量が増える

○生徒全体にわたって意識して観察し、生徒を理解するように取り組むようになる

「MYレコード」有効活用のための働きかけ (校内支援体制の整備)

- <情報推進委員会>
- ・活用マニュアルによる校内研修
- ・運用ルールを作成
- ・学年別操作体験
- ・個別支援

生徒の活動・観察記録をデータベース化した 「MYレコード」の作成



- <先行研究の成果>
- グループウェアの活用が職員間の情報共有に有効である

- <先行研究の課題>
- ・運用ルールの明確化
- ・支援体制の整備
- ・観察情報の蓄積が必要

生徒の観察記録がほしい

通知票の所見を充実させたい

- ・全体での情報交換が頻りにできない
- ・生徒の様子など、観察情報の蓄積が難しい
- ・生徒の活動記録が一元化されていない

他学年の詳しい情報を知りたい

忙しくて情報交換が難しい

グループウェアとは

LANを経由して情報共有やコミュニケーションの効率化をはかり、グループによる協調作業を支援するソフトウェアである。本研究は、国立情報学研究所が研究・開発したグループウェア機能を持つNetCommons(ネットコモンズ)という無償のソフトウェアを活用する。

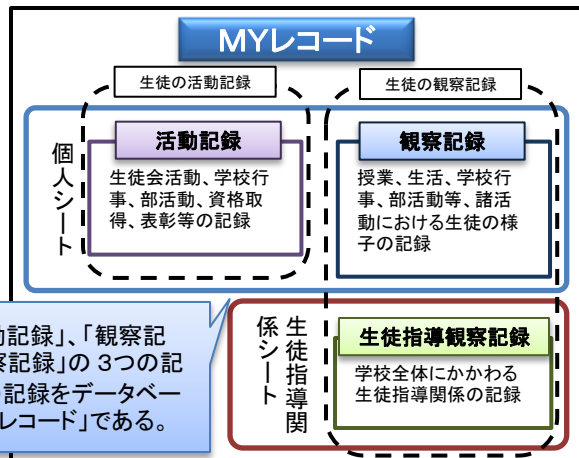
NetCommons(ネットコモンズ)の特徴

- ・電子メールの送受信程度の操作技能があれば簡単に利用できる。
- ・ユーザ名、パスワードによるセキュリティが確保できる。
- ・機能が豊富で、用途によって機能を選択できる。

生徒情報は、「活動記録」、「観察記録」、「生徒指導観察記録」の3つの記録とする。この3つの記録をデータベース化したものが「MYレコード」である。

生徒指導関係シート

生徒指導観察記録
学校全体にかかわる生徒指導関係の記録



IV 「MYレコード」の概要

※ ユーザ名とパスワードを入力してログインすると、このような画面が開く。「職員室」というルームである。新着情報が確認できる。

管理者 | 管理 | ログアウト

メニュー

トップページ

管理者のお部屋

▼MYレコード

- 職員室
- 保健室
- 1学年
- 2学年
- 3学年
- 4組
- 生徒指導関係
- 研修推進委員会
- 運営委員会
- 行事のスケジュール

ログインに成功しました
左カラムのメニュー(MYレコード)から各ルームにお入りください。

カウンタ
COUNTER 0126

新着情報

※ この「メニュー」のリンクをクリックすると、ルームやページ間を移動できる。

※ メニューの「1学年」「2学年」「3学年」「4組」をクリックすると、「活動記録」「観察記録」が入った「個人シート」の画面が表示される。

※ メニューの「生徒指導関係」をクリックすると、「生徒指導観察記録」が入った「生徒指導関係シート」の画面が表示される。

氏名 赤城 太郎
フリガナ 7枝 知由
男
1組
0
数学係
学級委員
前期委員(役職) 書記
後期係 理科係
後期委員会 情報委員
後期委員(役職) 委員長
委員会(その他) 選挙管理委員(副委員長)

活動記録

部活動 男子バスケットボール部
部(役職等) キャプテン
部活動(その他) 駅伝部
資格 数学検定3級
英語検定4級
空手初段
行事 クリーン作戦実行委員長
備考 弟(1年2組 浩樹)

表彰・その他 ○○市中体連新人バスケットボール大会 優勝
□□県中体連新人バスケットボール大会 第3位

記入者:ncadmin | コメント(2)

コメント

ncadmin 2009/08/11 01:55:56
本日の生徒玄関清掃では、友だちと協力しながら「ラベルはがし」に取り組み、すばらしくきれいに仕上げた。

2009/08/21 01:24:23 編集 | 削除
本日<三平方の定理>の数学の時間はとても意欲的で、斬新な考えを発表し、周囲を感心させた。最近はとても集中している。

観察記録

「活動記録」は、各項目で検索できる。

「観察記録」は、主に生徒のよいところを書き込む。

生徒指導観察記録

生徒指導関係キャビネット

フォルダ作成 | ファイル追加 | 圧縮→ダウンロード | 解凍する | ごみ箱

名前	サイズ	作成者	
10月		管理者	🗑️
11月			🗑️
2009年12月02日13時10分24	89.5K		🗑️ (14)
2009年12月16日19時09分49	58.1K		🗑️ (12)
盗難被害1	86.5K		🗑️ (15)
落書き報告7/29.pdf	85.2K		🗑️ (71)

生徒指導日誌

長期休業中の生徒の様子

記事を書く

カテゴリ選択

10件

2009/09/03 夏季休業中の報告(例)です。 by:ncadmin

△年△組のA君が、◇月◇日から体調不良と言って部活を休んでいます。△年△組のB君と他校生と一緒にいるところを友人が見たという情報が入りました。本日電話連絡したら、本人は家に居ませんでした。母親と話ができたので、本日の夕方に家庭訪問する約束をしました。

編集 | 削除

コメント(0)

「生徒指導関係キャビネット」は、生徒指導委員会の資料や会議録を、PDFファイルとして保存する。

「生徒指導日誌」は、クラスや学年をこえた生徒指導にかかわることがあったら、関係職員が書き込む。

V 校内支援

1 校内研修(全体)

協力校にグループウェアを導入したコンピュータの設置後、8月に全職員に対し校内研修を実施した。

<内容>

- ・グループウェア (NetCommons) を活用した生徒理解を支援するための生徒情報の共有についての説明。
- ・「MYレコード」の仕組みの具体的な説明。
- ・「MYレコード操作マニュアル」を活用した簡単な操作体験 (生徒の様子を入力など)。

研修後の主な感想

- 多くの活動記録などの情報が、一元化される。
- 生徒の様子をメール感覚でコメントできる。
- 名前・顔写真・活動記録が一つのシートの中にあるので、生徒のことがよく分かる。
- 生徒の様子などの観察記録が蓄積されるので通知票所見などに役立つ。



2 情報推進委員会

9月中旬、情報推進委員 (校長、教頭、教務主任、情報主任、各学年担当、長期研修員) による「MYレコード」活用推進のための会議を実施した。

運用ルールの内容の検討や、ルールと活用例を盛り込んだ、「MYレコード活用の手引き」を作成することが話し合われた。



運用ルールは、「全般」・「セキュリティ関係」・「その他 (機器のトラブル等の対応)」の3つで構成されている。

【運用ルール】 (抜粋)

※このルールは、学校にいる日に適用されます。

<全般>

1. 職員は出勤後ただちに、情報共有のためにパソコンの電源を入れ、〇〇中グループウェアを立ち上げ、IDとパスワードを入力してログインする。(情報推進委員は電源ONを確認する)
2. 全職員は、気付いたときに観察記録にコメントを書き込む。
3. 担任は、週2回程度は、自分のクラスの個人シートを確認する。
4. 書き込みの少ない生徒については、対象生徒を重点的に記入する日時を設け、コメントの書き込みができるようにする。(学年会等の後など)
5. 生徒指導主事は、生徒指導委員会の資料・会議録を、会議終了後、「生徒指導関係キャビネット」(ファイル等を保存して全職員で共有できる)の中に保存する。職員は、生徒指導主事からの報告後、生徒指導関係シートを参照する。
6. 全体の生徒指導にかかわることや共通理解を図りたいことは、生徒指導関係シートの「生徒指導日誌」に、直接関係する職員が書き込みをする。
7. 特別活動の記録等の編集・追加については、原則的に、係・委員会名等の決定や各種大会終了後、及び検定等の結果発表後、2週間以内に次の担当者が行う。

3 学年別操作体験

10月上旬、情報推進員による学年別操作体験を実施した。主に「活動記録」「観察記録」の書き込みや参照方法を学年単位で体験した。特に「活動記録」は、「特別活動・部品集」を活用してデータの追加や編集を行った。



体験後の主な感想

- 少人数なので、具体的で分かりやすかった。
- パソコンを前にして、操作方法など気軽に質問できたのでよかった。
- 個人シートへの書き込みの方法が、よく分かった。
- 操作方法がよく分かって、すぐに使えるようになった。
- 「特別活動・部品集」は、大会名称などが統一され、データをコピーできるので便利である。

「特別活動・部品集」とは、表計算ソフトを活用して作成したもので、係・委員会名や行事名、その他多くの大会やその結果等の正式名称が種類別に一覧になっているものである。

4 個別支援

10月下旬～11月下旬、職員がコンピュータ操作がわからないとき、情報推進委員が適宜個別に支援を行った。操作でつまずいたときなど、個別にその場で対応できるので、「役に立った」「よく分かった」という感想がほとんどであった。

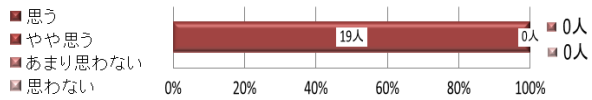


VI まとめ

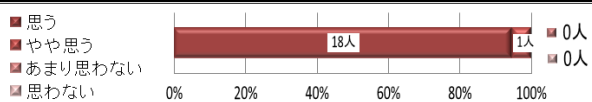
協力校において、「MYレコード」導入前と活用後の職員の意識の変化を把握するために、実践後にアンケート調査や聞き取り調査を行い、19人の回答を得た。

「MYレコード」の情報共有の有効性

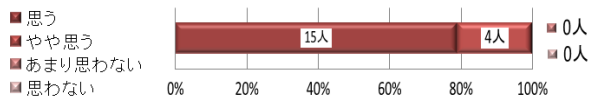
○情報が一元化され、全職員で参照できる。



○多くの職員からの視点でコメントされるので、多面的・客観的な情報が得られる。



○他学年の生徒の様子や、指導の様子などがわかる。



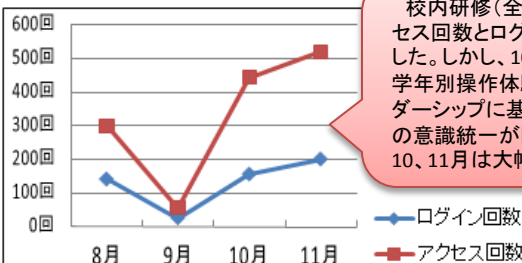
どの設問も100%の職員が「思う・やや思う」と回答している。

「MYレコード」によって、有効な生徒情報の共有ができた

校内支援について

情報推進委員会を組織し、校内研修(全体)、学年別操作体験、個別支援と、段階的に校内支援を行ったが、これについては、それぞれ「役に立った」と回答した職員は90%をこえた。

「MYレコード」の活用状況を把握するために、月ごとに全職員のログイン回数・アクセス回数それぞれの総数を調べた。



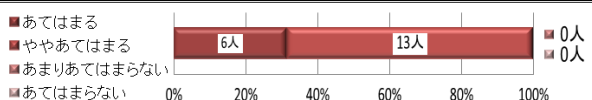
全職員のログイン回数とアクセス回数

校内研修(全体)後、9月は、アクセス回数とログイン回数ともに減少した。しかし、10月上旬に実施した学年別操作体験と、管理職のリーダーシップに基づいた職員会議での意識統一が図られたことにより、10、11月は大幅に増加した。

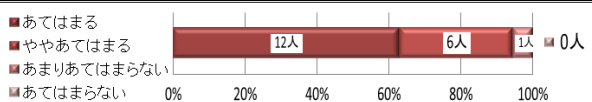
校内支援によって、「MYレコード」の活用を推進することができた

「MYレコード」導入後の職員の変容

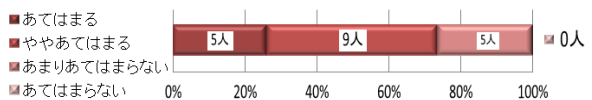
○「MYレコード」の参照をきっかけに、以前より職員間の情報交換が密になった。



○生徒に関する情報の量が増えた。



○生徒をよく見る習慣がついてきた。



「以前より職員間の情報交換が密になった」、「生徒に関する情報の量が増えた」の質問に対して「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせると、共にほぼ100%になった。

「生徒をよく見る習慣がついてきた」の質問に対して、「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせると、74%になった。「あまりあてはまらない」と回答した職員に対して聞き取り調査をしたところ、以前から観察記録をメモしていたり、積極的に多くの生徒と対話したりして、すでに生徒をよく見る習慣が身に付いていたためであることが分かった。

生徒理解を支援するための情報共有を推進することができた

VII 成果と課題

1 成果

○グループウェアを活用して、生徒の活動記録や観察記録をデータベース化した「MYレコード」を作成し、生徒情報の共有ができた。

○校内研修・操作体験などの校内支援によって「MYレコード」活用が促進され、生徒理解を支援するための情報共有を推進することができた。

○「MYレコード」の活用を通して、職員間の情報交換が密になった。

2 課題

○「MYレコード」活用の意識に差があるので、校内研修の年間計画に位置づけたり、「朝の打ち合わせ」などの活用を視野にいれたりして、必要性を高める工夫をする。

○通知票や調査書などの表簿類と連動するシステムの構築をする必要がある。

○観察記録の書き込み状況を把握し、入力之差を今後の生徒指導に生かす。

問い合わせ先

群馬県総合教育センター
担当係:教育情報推進係

0270-26-9215 (直通)